

関東地方会平成28年度事業報告

I. 平成28年度総会・第273回例会・第1回幹事会（拡大）

当番幹事：山本健也（東京大学）

開催期日：2016年5月7日（土）

場所：東京大学弥生講堂一条ホール（総会・例会）セイホクギャラリー 会議室（幹事会）

参加人数：167名

テーマ：「職域バリアフリー支援の新たな展開」

【プログラム】

1. 「改正障害者雇用促進法に基づく「障害者差別禁止指針」と「合理的配慮指針」について」 桑原 斉（東京大学）
2. 「障がい者の働きやすい環境づくりの実現」 尾上昭隆（サノフィ(株)）
3. 「難病患者・中途障害者の就労継続支援」 江口 尚（北里大学）
4. 「がん・脳卒中サバイバーの復職支援」 遠藤源樹（東京女子医科大学）

II. 第274回例会（一泊）及び第60回見学会・第2回幹事会

（共催：埼玉県医師会、埼玉県医師会産業医会、埼玉産業保健総合支援センター）

企画運営委員長：松本吉郎（埼玉県医師会）

開催期日：2016年9月17日（土）・18日（日）

場所：埼玉県県民健康センター 2階大ホール（例会）1階大会議室C（幹事会）

参加人数：164名

メインテーマ：「ストレスチェック制度の概要と運用の実際」

<9月17日（土）（1日目）>

【見学会】

場所：①大宮総合食品地方卸売市場／さいたま市北区 ②（株）藤島建設生産管理センター／さいたま市緑区 ③（株）ショーモンミッションランド工場／久喜市河原井町 ④日本電鍍工業（株）／さいたま市北区

【例会・基調講演】

座長：柳澤裕之（東京慈恵会医科大学）

「ストレスチェック制度の現状」 松本吉郎（日本医師会常任理事、埼玉県医師会産業保健委員会委員長）

<9月18日（日）（2日目）>

【例会・講演会】

座長：松本吉郎（日本医師会常任理事、埼玉県医師会産業保健委員会委員長）

①「大規模事業場におけるストレスチェック制度の実施状況」

—H社職員のケース— 宇治 元（宇治病院院長）

—S市職員のケース— 松本雅彦（埼玉県医師会産業保健委員会副委員長）

②「地域産業保健センター事業とストレスチェック制度」 武石容子（埼玉県医師会産業保健委員会委員・大宮地域産業保健センター地域運営主幹）

③「ストレスチェック制度における面接指導の留意点」 林 文明（埼玉産業保健総合支援センター産業保健相談員）
総合討論

【特別講演】

座長：對木博一（合同会社アール CEO）

「第3次産業における労働災害の実態—保護具の活用で防げるか」 田中 茂（十文字学園女子大学大学院人間生活学研究科教授、埼玉産業保健総合支援センター産業保健相談員）

III. 第275回例会・第3回幹事会

当番幹事：北村文彦（順天堂大学医学部）

開催期日：2016年11月12日（土）

会場：東京大学医学部教育研究棟14階 鉄門記念講堂（例会）2階 第1・2セミナー室（幹事会）

参加人数：168名

【プログラム】「治療と就業の両立支援—産業医と主治医の連携—」

- (1)「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」 鈴木章記(厚生労働省)
- (2)「産業医と主治医の連携のための有効な方法」 横山和仁(順天堂大学医学部衛生学)
- (3)「パネルディスカッション」
 - ・「うつと仕事の両立支援 ～リワークプログラムの効果～」 五十嵐良雄 (メディカルケア虎ノ門)
 - ・「乳腺診療の現場から職場に発信できること」 齊藤光江 (順天堂大学医学部乳腺・内分泌外科学)
 - ・「新たな視点に立った腰痛に対する両立支援と産業医主治医連携について」 松平 浩 (東京大学医学部付属病院 22世紀医療センター 運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座)
 - ・「病休・復職コホート研究からみた両立支援のかたち」 遠藤源樹 (東京女子医科大学衛生公衆衛生学第二講座)

IV. 第276回例会・第4回幹事会

当番幹事：中野愛子 ((株)日立製作所)

開催期日：2017年2月18日(土)

会場：東京有明医療大学 3F 大講義室 (例会) 3F 中講義室 (幹事会)

参加人数：122名

【プログラム】「シニア労働者活用における産業保健の課題と展望」

座長：古川晴子 (東京海上日動火災保険(株))、吉川悦子 (東京有明医療大学)

- ・講演1：「高齢労働社会への産業保健における課題と対策」 酒井一博 ((公財)大原記念労働科学研究所)
- ・講演2：「高齢男性の退職移行期における健康への意識・ヘルスプロモーション」 掛本知里 (東京有明医療大学看護学部)
- ・講演3：「65歳を超えても安全で健康的に働ける職場づくりを目指して - 高齢労働者活用に関する経営戦略」 武井 宏 ((株)ボルテックスセイゲン)
- ・講演4：「高齢労働者活用における産業保健スタッフによる支援」 帆苺なおみ (サンデン・ビジネスエキスパート(株))
- ・パネルディスカッション

V. 関東産業医部会研修会

- ・日本産業衛生学会関東産業医部会研修会 (共催) 蒲田医師会、2016年9月24日、蒲田医師会館
 - 1 「ストレスチェック」 西埜植 規秀 (関東産業医部会幹事)
 - 2 「危険有害物取扱作業がある製造現場での産業保健管理活動」 寺田 勇人 (同幹事)
 - 3 「がんに対する就労支援」 大神あゆみ (大神労働衛生コンサルタント事務所)
- ・日本産業衛生学会関東産業医部会 (共催) 東京都医師会、独立行政法人労働者健康安全機構東京産業 保健総合支援センター、2016年12月10日(土)、野村カンファレンスプラザ新宿B&C、新宿野村ビル

テーマ がんと就労

 - 1 「両立支援ガイドラインと両立支援促進員の役割」 飯島 美世子 (独立行政法人労働者健康安全機構東京産業保健総合支援センター 産業保健相談員)
 - 2 「がん患者の就労支援～臨床医の立場から」 金 容壺 (在日本南プレスビテリアンミッション淀川キリスト教病院 腫瘍内科)
 - 3 「がんと就労職場における症状別対応のヒント」 平岡 晃 (コマツ 健康増進センタ 産業医、国立がん研究センターがん対策情報センター がんサバイバーシップ支援部)
 - 4 トピックス「健康経営と産業衛生」 丸山勇紀 (経済産業省 商務情報政策局 ヘルスキア産業課 係長)
- ・田園調布医師会主催研修会 (後援)、2016年12月10日、田園調布医師会館
 - 1 「ストレスチェックについて」 中村雅和 (社会保険労務士事務所 (株式会社 インフィニティ)、中辻めぐみ (特定社会保険労務士・産業カウンセラー・衛生管理者)
 - 2 「過重労働対策」 加来明希子
 - 3 「最近のメンタルヘルス対策」 吉村靖司 (神田東クリニック院長 (診療統括))
- ・第20回海外勤務者健康管理研修会 (海外勤務者健康管理全国協議会と共催)

2016年8月8日、東京医科大学病院 6F 臨床講堂

 1. 講演 座長：濱田 篤郎 (東京医科大学病院 渡航者医療センター 教授)

「 Dengue熱～世界の状況と感染予防策」 高崎 智彦 (国立感染症研究所 ウイルス第一部第2室)
 2. シンポジウム 座長：久保田 昌詞 (大阪労災病院 治療就労両立支援センター 部長)

「海外出張業務の内在リスクに関する裁判例の示唆について～失敗学から得られる予防措置～」
三柴 丈典 (近畿大学 法学部 教授)
追加発言 「海外出張者の健康管理対策の現状」 栗田 直 (東京医科大学病院 渡航者医療センター)

・刊行物

日本産業衛生学会関東産業医部会編「産業医ガイド第2版」日本医事新報社 (2016年3月刊)

VI. 関東産業看護部会研修会

- ・群馬産業看護研究会との合同研修会 2016年5月21日(土)、群馬県公社総合ビル
テーマ:「ストレスチェック制度～高ストレス者への対応を中心に～」吉川悦子 (東京有明医療大学)
- ・平成28年度関東産業看護部会研修会 (第276回例会として開催→IV.に記載)
- ・とちぎ産業看護研究会との合同研修会 2017年2月25日(土)、とちぎ福祉プラザ
テーマ:「ストレスチェックのより効果的な実施と産業看護職の役割について」吉川悦子 (東京有明医療大学)

VII. 関東産業衛生技術部会研修会

- ・第39回関東産業衛生技術部会研修会「熱中症予防のためのリスクアセスメント」
2016年6月1日、さいたま市民会館おおみや、参加者:123名
 1. 「熱中症予防のためのリスクアセスメント」澤田晋一 (独)労働安全衛生総合研究所)
 2. 「企業における熱中症対策」加部勇 (古河電工(株)統括産業医)
 3. 「熱中症対策における保護具と測定器」田中 茂 (十文字学園女子大学大学院)
- ・第40回関東産業衛生技術部会研修会「化学物質の経皮吸収曝露を防ぐための化学防護服,化学防護手袋に関する最新の情報」
2016年10月7日、順天堂大学医学部D棟8階、参加者:60名
「化学防護服,化学防護手袋の関連JIS規格の改訂と進行状況」磯田 実(アゼアス株)
「化学防護服材料に対する耐透過性試験」稲井 巡(株重松製作所)
「最近の化学防護服の動向」武居信英(アゼアス株)
「最近の化学防護手袋の動向(経皮吸収物質の検索,透過試験および手袋の透過データの情報方法等について)」
田中 茂 (十文字学園女子大学大学院)
- ・第41回関東産業衛生技術部会研修会「衛生管理者の交流研究会」
2017年2月13日、全電通埼玉会館あけぼのビル、参加者:40名
「メンタルヘルスに関して困ったこと」星野ゆかり (埼玉産業保健総合支援センター)
「化学物質のリスクアセスメント」澤田 等 (本田技研工業(株))、泉 貢 ((公財)埼玉県健康づくり事業団)、
吉川幸雄 (順天堂大学医学部)
「安全配慮義務」坂本雄二 (埼玉産業保健総合支援センター)

VIII. 関東産業歯科保健部会

- ・平成28年度関東産業歯科保健部会研修会 (厚生労働省 労災疾病臨床研究班および平成28年度産業歯科保健部会後期研修会同開催)
2017年2月4日(土)、東京医科歯科大学歯学部特別講堂、参加者:61名
シンポジウム:「職域における歯科口腔保健の課題と今後の展望」
「職域における口腔保健指導プログラム(日本歯科医師会生活歯援プログラム)」深井稜博 (深井保健科学研究所)
「職域における歯科健診と保健指導による行動変容」金子 昇 (新潟大学)
「職業階層・勤務形態と歯周疾患との関連」森田 学(岡山大学)
「千葉県内事業所における実証研究の成果と今後の展開」佐藤真一 (千葉県衛生研究所)、山倉久史 (千葉県歯科医師会)
「職域における歯科口腔保健に関する実証研究の成果」財津 崇 (東京医科歯科大学)

IX. 関東地方会ニュース編集委員会

- ・関東地方会ニュース第34号および第35号を発行した。

以上